

ヒョウモンダコにご注意ください！



目撃情報

千葉県沿岸におけるヒョウモンダコを目撃情報は、報告数は少ないものの以前から確認されています。

<最近の目撃例>

平成29年 3月17日 鋸南町

平成29年 5月 3日 南房総市千倉町

平成29年10月18日 南房総市富浦町

危険性情報

ヒョウモンダコは大きさ 10cm 程の小さなタコで、刺激を受けて興奮すると青色のヒョウ柄の模様を体表に発色する特徴があります。唾液には神経毒であるテトロドトキシンをもっており、海外では咬まれて死亡した例も報告されています。

普段は岩肌と同じような体色をしており、発見しにくいので注意が必要です。ただし、ヒョウモンダコから人に危害を加えることはなく、捕まえるなど人のほうから手を出さなければ危険はないようです。磯遊び等をされる際には怪我を防ぐことも含めて手袋や水中用のブーツを身につける等して体表を防護するとともに、発見した場合にはむやみに触らないようにご注意ください。

生態・分布情報

ヒョウモンダコは西太平洋の熱帯・亜熱帯域を中心に分布していますが、千葉県沿岸でも、生息数自体は少ないものの以前から知られています。

問い合わせ先

千葉県農林水産部水産局水産課 (TEL: 043-223-3032)